

様式1 令和7年度 清瀬市立 清瀬第二中学校 学校評価計画						
学校の教育目標		愛情 より豊かな 心をつちかう 勤労 よりよくはたらき 責任をはたす きたえる	学力 より深く 自ら学ぶ 健康 よりたくましく 心身を	育成を目指す資質・能力及び特色ある教育活動		
目指す学校像(ビジョン)		【目指す学校像】 「笑顔 と あいさつ そして ありがとう」が溢れる清瀬二中 【目指す児童・生徒像】 「自分で考えて行動する力」を持つ生徒 【目指す教師像】 「生徒が主役であることを大切にし、感謝を忘れず、教師であることを誇りに思う教員」			・生涯学び続ける力・人間性の育成 ・ふるさと清瀬を誇りにし、持続発展の主体となる力 ・生きて働く知識・技能の育成 ・考える力、判断する力、表現する力 ・育てたい4つの心「感謝する心」「自他の発言、意見を大切にす る心」「共に学ぶ心」「社会の中で活きている意識」 ・学校支援本部との連携	
前年度までの学校経営上の成果と課題						
・昨年度は、校内研究で学力向上に向け、二中スタンダードの改定を行った。今年度は、授業実践及を通じて二中スタンダード内容の確認及び更なる改善を図る必要がある。 ・新たな運動活動の導入により、生徒が運動の楽しさを実感する姿がみられた。今後は、継続な取り組みとして定着・推進を図ることが課題である。 ・特別支援教育の充実について、特別支援学級開級2年目にあたり、給食や行事において、通常学級とのインクルーシブ教育を推進することができた。今年度は、教員研修をさらに充実させていくことが課題である。						
柱	中期経営目標				短期経営目標	具体的方策
命の教育	生徒の自他を大切にす る心や自己実現へ向けて努 力する態度の育成を図る。	行事や学級活動に主体的に取 組ませることで、達成感を味わ わせ、自己肯定感や自尊感情を 高める。 いじめがなく、生徒一人一人 が大切にされる学校・学年・学 級作りを目指す。	学校行事や学年行事、学級活 動、委員会活動、授業に生徒 が主体的に取り組むような指 導計画を立て、実践する。 いじめ調査やいじめ防止授 業、学級環境適応尺度調査を 実施して、学級経営や面談に 活用する。	4 教職員の取り組み評価がA・Bが90%以上	4 生徒の自己評価が4段階評価でA・Bが90%以上	
				3 教職員の取り組み評価がA・Bが80%以上	3 生徒の自己評価が4段階評価でA・Bが80%以上	
				2 教職員の取り組み評価がA・Bが60%以上	2 生徒の自己評価が4段階評価でA・Bが50%以上	
				1 教職員の取り組み評価がA・Bが60%未満	1 生徒の自己評価が4段階評価でA・Bが50%未満	
学力向上	授業の質的向上を図り、生 徒の他者と協力して学ぶ姿 勢や思考力・判断力・表現 力を育てる。 GIGAスクール構想に基づ き、ICTの活用に取り組む中 で、主体的、対話的で深い学 びの実現を図る。	二中スタンダードに基づき、 他の生徒と協力して学びに向 かう姿勢や課題解決のために 考え抜く力、自分が学んだこ とを活用、表現する能力を 育てる。 GIGAスクール構想に基づ き、ICTの活用に取り組む中 で、主体的、対話的で深い学 びの実現を図る。	課題解決のために個人で考 える時間をとり、話し合い活 動等により自分が学んだこと を活用、表現する場面を設 ける。 今までの研修で学んだこと を活かし、ICTを活用して、 授業改善を図る。	4 教員の授業評価が4段階評価でA・Bが90%以上	4 生徒の授業評価が4段階評価でA・Bが90%以上	
				3 教員の授業評価が4段階評価でA・Bが80%以上	3 生徒の授業評価が4段階評価でA・Bが80%以上	
				2 教員の授業評価が4段階評価でA・Bが60%以上	2 生徒の授業評価が4段階評価でA・Bが50%以上	
				1 教員の授業評価が4段階評価でA・Bが60%未満	1 生徒の授業評価が4段階評価でA・Bが50%未満	
体力向上	運動を楽しみ、健全な食生 活を意識して、健康的に生 活する態度を養うとともに、 健康な心身の成長に関す る意識を高める。	体育の授業や体育行事、部活 動により、生徒の健康的に生 活する態度を育む。 正しい生活のリズムについて 指導し、食育を推進して、健 康的に生活するための知識を 身に付けさせる。	体育の授業において新スポ ーツの導入等の推進を通 して、運動することの楽しさ について指導する。 給食だよりや保健だより等 を通して健康に関する情報 を発信する。また生徒が自 分の生活を見直す活動を実 施する。	4 教職員の取り組み評価がA	4 生徒の評価が4段階評価でA・Bが90%以上	
				3 教職員の取り組み評価がB	3 生徒の評価が4段階評価でA・Bが80%以上	
				2 教職員の取り組み評価がC	2 生徒の評価が4段階評価でA・Bが50%以上	
				1 教職員の取り組み評価がD	1 生徒の評価が4段階評価でA・Bが50%未満	
地域とともにある学校づくり	「社会に開かれた教育課 程の実現」と家庭・地域と の連携を推進する。 学校の情報を地域・保護者 に積極的に発信する。	学校運営協議会・学校支援 本部と連携して様々な活動 を展開するとともに、外部 人材の活用を図る。 学年だより、ホームページ 等を活用して情報を発信す る。	学生や保護者・地域の方と 連携してのボランティア活 動を実施する。 学年便り発行計50号以上、 HPの更新毎週4回以上 3 学年便り発行計40号以 上、HPの更新毎週3回以 上 2 学年便り発行計30号以 上、HPの更新隔週2回以 上 1 学年便り発行計20号以 下、HPの更新隔週1回以 下	4 地域の人材活用の取組を年8回以上実施	4 保護者の評価が4段階評価でA・Bが90%以上	
				3 地域の人材活用の取組を年6回実施	3 保護者の評価が4段階評価でA・Bが80%以上	
				2 地域の人材活用の取組を年4回実施	2 保護者の評価が4段階評価でA・Bが50%以上	
				1 地域の人材活用の取組を年2回実施	1 保護者の評価が4段階評価でA・Bが50%未満	
個に応じた支援	特別な支援を必要とする生 徒への支援の充実を図る。 特別な支援を必要とする生 徒への支援方法や特別支援 学級についての研修を実 施する。	特別な支援を必要とする生 徒に関する情報を共有して 指導・支援を行う。 特別な支援を必要とする生 徒への支援方法や特別支援 学級についての研修を実 施する。	特別な支援委員会を中心と した情報交換や指導方法等 に係る検討会を定期的に実 施する。 特別な支援委員会を中心と した外部のアドバイザーに よるカンファレンスや特別 支援学校コーディネーター をよる、研修会等を実施す る。	4 隔週ごとに実施	4 教職員の評価が4段階評価でA・Bが90%以上	
				3 月に2回程度実施	3 教職員の評価が4段階評価でA・Bが80%以上	
				2 月に1回程度実施	2 教職員の評価が4段階評価でA・Bが50%以上	
				1 隔月ごとに実施	1 教職員の評価が4段階評価でA・Bが50%未満	
個に応じた支援	特別な支援を必要とする生 徒への支援の充実を図る。 特別な支援を必要とする生 徒への支援方法や特別支援 学級についての研修を実 施する。	特別な支援を必要とする生 徒に関する情報を共有して 指導・支援を行う。 特別な支援を必要とする生 徒への支援方法や特別支援 学級についての研修を実 施する。	特別な支援委員会を中心と した外部のアドバイザーに よるカンファレンスや特別 支援学校コーディネーター をよる、研修会等を実施す る。	4 年15回以上の実施	4 保護者の評価が4段階評価でA・Bが90%以上	
				3 年10回以上の実施	3 保護者の評価が4段階評価でA・Bが80%以上	
				2 年5回以上の実施	2 保護者の評価が4段階評価でA・Bが50%以上	
				1 年5回未満の実施	1 保護者の評価が4段階評価でA・Bが50%未満	